

第 20 期福井糖尿病療養指導担当者教育講習会 5 月講義施行ミニテスト

解答は解答用紙に記入してください。

以下の各文について、正しい文には○印、間違いのある文には×印を付けなさい。

- 1 大規模臨床試験のうち、DCCT は1型糖尿病を、UKPDS は2型糖尿病患者を、それぞれ対象としている。
- 2 VADT 試験では、すでに 20 年をこえて糖尿病を有している患者でも厳格な強化療法は通常療法に比べて主要心血管イベントを減らし得るとされた。
- 3 “認知症が軽度で手段的 ADL は低下しているが基本的 ADL は自立している高齢者で、SU 薬やインスリン製剤を使用中の場合の血糖コントロール目標は HbA1c8.0 未満とされる。”
- 4 黄斑浮腫は、増殖糖尿病網膜症に進展したのちに発症・重症化し、視力低下を来す一因となる。
- 5 SGLT2 阻害薬は尿量を強制的に増やすことで腎に負担をかけるため、ある程度 eGFR が保たれていても、腎症 2 度以上の例には用いないほうがよい。
- 6 サインバルタは抗うつ薬、リリカは抗けいれん薬に分類される。
- 7 メタボリックシンドロームから進展する動脈硬化は、内臓脂肪から分泌されるアディポネクチンの分泌過剰によって引き起こされる。
- 8 糖尿病足壊疽は、ABI 検査で発見されるような大きな動脈の狭窄・閉塞よりも、比較的小さな動脈の閉塞によるものが多い。
- 9 椎体あるいは大腿骨近位部が、転倒や尻もちなどで骨折をきたした場合、骨密度の値によらずに骨粗鬆症と診断する。

解答欄

1	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	7	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	8	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	9	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>		